令和5年度ワカメ養殖情報　臨時号

高水温に注意しましょう！

令　和　5　年　9　月　25　日
岩手県水産技術センター

海水温（表層付近）が２５℃前後と高くなっています。

水温に注意して、ワカメ種苗の養殖管理を行いましょう。

１　水温の状況と見込み

○水深３～５ｍの定地水温は、**７月後半頃から２０℃を超えており、８月以降２５℃ を超えている**定点もあります。（図１）。

○直近の表面水温衛星画像では、本県の沖合に**２５℃以上の非常に水温の高い水が分布**しているほか、気象庁の発表でも三陸沖において**平年より１０℃も高い水温**が観測されており、今後も本県の沿岸部では**高水温が続く**と予想されます（図２）。

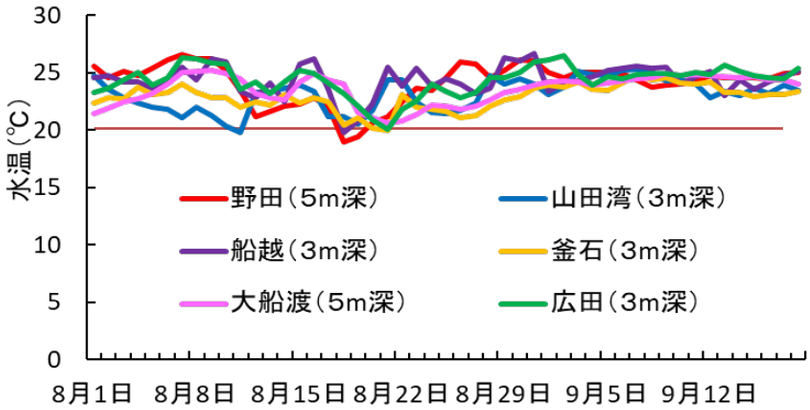

図1　令和5年8～9月の定地水温

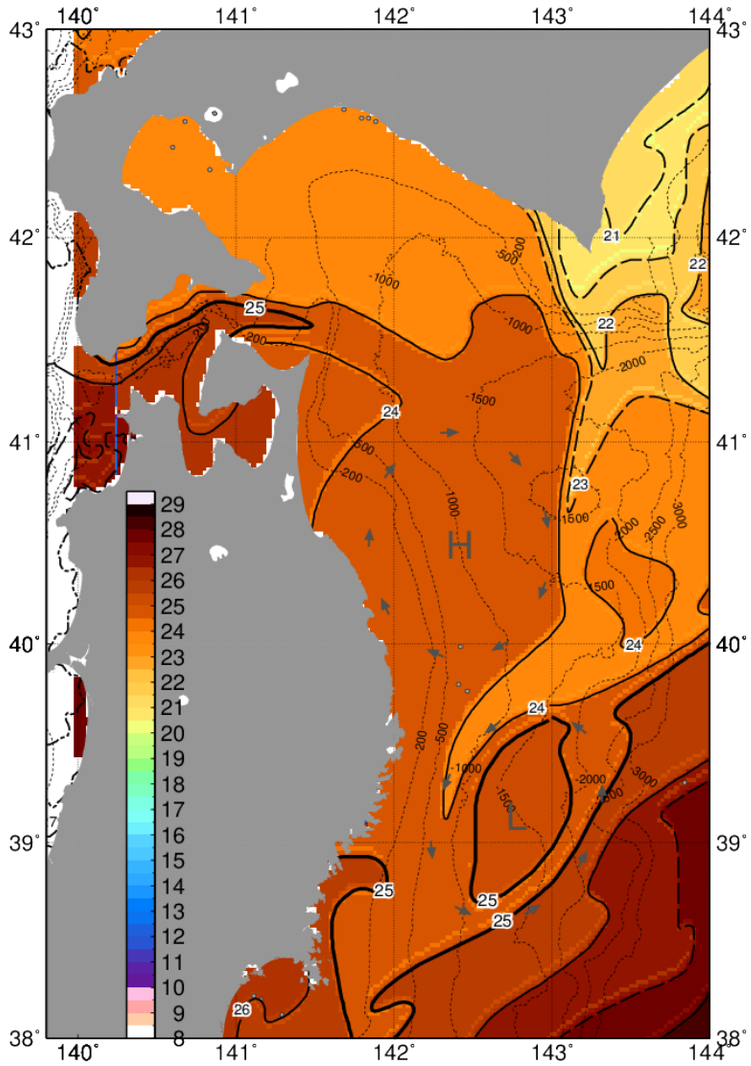

図2　JAFIC提供　表面水温図（令和5年9月19日）

２　ワカメ養殖上の注意点

○**ワカメは、水温２０℃以上の時に本養成すると芽落ちする**恐れがあります。
芽出しのために種糸の垂下水深を徐々に浅くする作業が行われますが、**水温が２０℃以下になるのを目安に作業を行う**ようにしてください。

○本養成のための種糸の巻き込み作業についても**暦に基づき作業を行うのではなく、水温と栄養塩の値に注意して**行ってください。

○また、**「ワカメ養殖情報」**では、栄養塩濃度が上昇する（目安となる２０μｇ／Ｌを超える）時期の予測結果をお知らせしますので、こちらも参考にしてください。

当所では、水産情報配信システム「いわて大漁ナビ（https://www.suigi.pref.iwate.jp）」において表面水温分布画像と湾内定地水温情報を配信しております。ご活用ください。